

さつま議会だより

令和2年2月6日発行

No.60



令和元年度各会計補正予算の概要……	2P
条例の制定、廃止、一部改正、陳情……	3P
常任委員会審査の概要……	4～5P
一般質問(9人)……	6～14P
決算特別委員会審査の概要……	15P
議会活動・議長の動静・編集後記……	16P

心を落ち着かせて!
(1月11日撮影)

《表紙紹介》

町教育委員会主催による、席書会の様子。
小学3年生から中学2年生の児童生徒が、
新年を迎えたすがすがしい気持ちで書に集
中していました。

補正予算の概要

◆令和元年度各会計12月補正予算◆

会 計 名	補正額	補正後の予算総額
一 般 会 計	1億1,737万円	129億5,576万円
国民健康保険事業特別会計	22万円	30億7,760万円
後期高齢者医療特別会計	65万円	3億3,524万円
介護保険事業特別会計	4万円	35億5,922万円

※金額は千円単位を四捨五入 ※12/5に提出された補正予算

◆令和元年度各会計12月追加補正予算◆

会 計 名	補正額	補正後の予算総額
一 般 会 計	432万円	129億6,008万円
上水道事業会計	△475万円	4億2,328万円

※金額は千円単位を四捨五入
※12/25に追加提出された補正予算（人事院勧告に伴う人件費補正）

定例会のあらまし

《第4回（12月）定例会》

すべての議案を可決

12月5日から12月25日までの間の会期で開かれました。
条例廃止1件、条例制定1件、条例の一部改正6件、土地建物の譲渡1件並びに各会計の補正予算などを慎重に審議し、提案されたすべての議案を可決しました。

老人保護措置費

100万円

養護老人ホームへの入所者数が増加したことによる経費です。



快適な入所生活が送れるように

養豚振興事業費

675万円

ASF（アフリカ豚コレラ）の侵入を防止するため、野生動物侵入防護柵を整備する9農場への補助です。



防護柵が設置される豚舎

災害復旧事業費

8,400万円

梅雨前線豪雨による農地や農業用施設、公共土木施設等災害復旧に要する経費です。
農地5件、水路3件、ため池1件、道路1件



田の畦畔が崩壊

開発振興事務費

4,329万円

土地開発公社から、東谷住宅団地の周回道路部分などを購入するための費用です。



東谷住宅団地（上空北側から撮影）

単独道路整備事業費

300万円

県道原口薩摩山崎停車場線の道路整備事業に伴う、町負担金10%です。



道路改良が待ち遠しい

屋地楽習館管理費

86万円

屋地楽習館図書室のエアコンが故障したことにより、新規購入するものです。



故障しているエアコン

条例

我が町の法規を探る

地方公務員法及び地方自治法の一部を改正する法律の施行に伴う関係条例の整備に関する条例の制定

会計年度任用職員制度の導入に伴い、会計年度任用職員の休職期間に関する規定の改正、育児休業に関する規定を設けることや常勤職員と同様に旅費の支給対象とすることなどを整備するものです。

さつま町観音滝公園条例及びさつま町観音滝公園交流センター条例の廃止

さつま町観音滝公園及びさつま町観音滝公園交流センターを譲渡することに伴い廃止するものです。

さつま町企業職員の給与の種類及び基準に関する条例の一部改正

さつま町会計年度任用職員の給与及び費用弁償に関する条例の制定に伴い、水道事業に従事する非常勤職員の給与を会計年度任用職員の給与に改め、給与等は今回制定された条例の規定を準用するよう改正するものです。

さつま町報酬及び費用弁償等に関する条例及びさつま町立太陽福祉センター条例の一部改正

投票管理者や立会人等の選挙に関する事務に従事する者の報酬額の改正や会計年度任用

職員制度の導入に伴い、特別職非常勤職員として位置づけできない職を会計年度任用職員等へ移行するものです。
さつま町立太陽福祉センター条例の一部改正は、館長が会計年度任用職員へ移行されることから、報酬等については、報酬条例の規定に準じるよう整理するものです。

さつま町立学校給食センター条例の一部改正

さつま町立薩摩学校給食センターを4月から廃止することに伴い一部改正するものです。



廃止となる薩摩学校給食センター

さつま町営住宅等条例の一部改正

船木地区のおしどり団地に新たに4戸完成し20戸となることから、戸数の改正をするものです。



おしどり団地に新たに完成した住宅
(手前の2棟4戸)

さつま町長等の給与に関する条例の一部改正

特別職の職員の給与に関する法律の一部改正に準じて、さつま町長等の期末手当の支給率を改正するものです。

さつま町職員の給与に関する条例の一部改正

人事院勧告に基づき、町職員の給料表及び住居手当の支給額・勤勉手当の支給率を改正するものです。

◆用語解説◆

《会計年度任用職員》

非常勤職員の適正な任用・勤務条件を確保するために、2020年4月から制度化される。

どうなった！あなたの陳情

1件の陳情を審査しました

採択
保育料無償化に伴う副食費負担に対する陳情

◎陳情者

・さつま町柏原5183番地

さつま地区保育連合会会長

さつま地区保育連合会職員会長

さつま地区保育連合会給食会長

堀 さつき

友清 日出子

◇意見書

本陳情については、陳情の趣旨を「了」として、全会一致で「採択すべきもの」と決定し、次の1項目に関する意見書をさつま町長に申し入れしました。

一、世帯の収入状況に関わらず、全ての幼児の健全な育成を図るため、副食費の助成を行うべきである。

委員会付託された議案6件は原案可決！

- ・条例の制定（1件）
- ・条例の一部改正（1件）
- ・令和元年度一般会計補正予算（第5号）関係分
- ・令和元年度国民健康保険事業特別会計補正予算（第1号）
- ・令和元年度後期高齢者医療特別会計補正予算（第1号）
- ・令和元年度介護保険事業特別会計補正予算（第3号）

常任委員会審査

総務厚生

委員会審査の中で出された質疑、意見などの主な事項を掲載しています。

地方公務員法及び地方自治法の一部を改正する法律の施行に伴う関係条例の整備に関する条例の制定

会計年度任用職員の雇用予定人数は。

【田野】

答 現在の一般職非常勤職員等の人数より削減し、200名程度としたい。

フルタイムとパートタイムの服務に関する差異は。【川口】

答 フルタイムは正規職員に準じた取り扱いとなり、パートタイムは幾分緩和される。

報酬及び費用弁償等に関する条例及び町立太陽福祉センター条例の一部改正

投票管理者等の報酬額は金額を明記せず、基準額の範囲内とした理由は。【岩元】

答 期日前投票時間の弾力化や投票管理者の交代など、選挙事務従事形態の多様化が図られたため、規則で定め適切に運用していきたい。

一般会計補正予算（第5号）関係分

全棟家屋調査による未評価家屋調査業務委託の落札率は。

【米丸】

答 落札率は、84.7%である。

緊急医療施設運営に係る共同利用型病院運営事業の内容は。

【川口】

答 休日や夜間の救急医療に対する補助であり、祝祭日の増加に伴い事業費も増加となった。

光ブロードバンド基盤整備事業の計画内容は。【川口】

答 整備する区域の順序や方法は事業実施者により異なり、整備後において全区域一斉に運用開始となることも考えられる。

養護老人ホームの措置者数と一人当たりの措置費は。

【上久保】

答 今年度5名増加し現在77名であり、措置費は一人当たり月額16万円から17万円程度である。



二次救急医療対応の薩摩郡医師会病院



無償貸付される同型の消防ポンプ自動車

総務省から無償貸付された消防車両一台の貸付制度の概要は。

【上久保】

答 東日本大震災を契機に開始された制度であり、今回の貸付は全国で94件で、申請しても毎年貸付されるとは限らない。

常任委員会審査

委員会審査の中で出された質疑、意見などの主な事項を掲載しています。

委員会付託された議案4件は原案可決！

・条例の一部改正(3件)
・令和元年度一般会計補正予算(第5号)関係分

町企業職員の給与の種類及び基準に関する条例の一部改正

水道管理人に欠員が発生したときの対応は。
【三浦】

答 ハローワークを通じて募集し、面接を含めて選考しており、滞りなく欠員の補充ができています。



水道管理人による水質検査



おいしい給食が出来上がる

学校給食センター条例の一部改正

廃止後の職員等の配置はどうなるのか。
【三浦】

答 職員は人事担当部署での対応となり、非常勤職員は1年契約であるので、宮之城センターと鶴田センターで同時にハローワークを通じて募集し選考していく。また非常勤職員は減になる計画である。

一般会計補正予算(第5号)関係分

ASF(アフリカ豚コレラ)侵入防止緊急支援事業は、野生動物侵入防護柵のみの対策で十分か。
【森山】

答 国はウイルス持ち込み防止策と野生動物侵入防止策の2項目を重点に侵入阻止を図っており、町としては国の防止策に沿って進めていく。

6月下旬から7月上旬に発生した豪雨災害は激甚災害に認定されているが、農用地災害復旧費の補助率は。
【宮之脇】

答 農地・農業用施設が対象となり、農地は94.2%、農業用施設は98%の予定である。

鉄道記念館の管理について、今後どのように考えているのか。
【新改(秀)】

答 永野地区と宮之城地区にあり、永野鉄道記念館は昭和62年ごろ建設され古くなっている。将来的には展示品など集約した管理を検討していきたい。



修繕される永野鉄道記念館



改修される濡れ縁

～議会活性化調査特別委員会～

11月28日に町内各団体から11名の方々に参考人として、議員定数、議員報酬、その他議会に関することについて意見の聴取をしました。今後は意見を参考にしながら検討します。

一般質問

一般質問関係の記事は、各議員から提出された原稿を基に、質問議員の責任において掲載しています。



新改 幸一 議員

大会出場補助を見直せ

教育長／補助要綱の見直しを検討

スポーツ振興

問

本町には21のスポーツ少年団と中学校の部活など、素晴らしい指導者の下で各種大会で優秀な成績を残している。九州大会・全国大会に出場するチームに対する出場補助率を上げる考えはないか。

答

青少年の健全育成とスポーツ振興・競技力の向上については、児童生徒や指導者の努力と活躍に対して、敬意を表し感謝している。補助金についてはスポーツのみならず文化活動・社会教育など現状に沿った補助要綱の見直しを検討したい。

スポーツ振興基金新設を

町長／今は考えていない

問

さつま町初のプロ野球選手誕生を機に、スポーツ振興基金を創設して、企業や個人から多くの支援を募り、各種大会出場チームを助成してスポーツ振興を図る考えはないか。

答

先のプロ野球ド

ラフト会議で、さつま町初のプロ野球選手が誕生したことは、誠にめでたいことである。後援会設立の動きもあり町を挙げて応援したい。スポーツ振興基金については、これまでの補助額からしても、今のところ設置するまではないと考える。

窓口サービス

お悔みコーナー設置を

町長／現状での設置は難しい

問

職員に対して日本一の行政サービスを目指して業務に励むよう訓示されているが、窓口サービスの課題を踏まえ、町民（遺族）の窓口手続きなどの負担軽減を図るため、お悔みコーナーを設置する考えはないか。

答

全国の自治体に

おいてお悔みコーナーといった名称で専用の案内窓口を設ける動きがあるが、本町では遺族の方が行う行政手続きの負担を軽減するため、死亡手続きのご案内で必要な手続き、申請窓口等を一覧にして示し、関係部署への案内も行っており、現状では難しいと考える。

ワンストップサービスを

町長／負担軽減を調査研究する

問

窓口のワンストップサービスの基
本は、町民ニーズが多様化する中、超高齢化社会を迎えるにあたり「おもてなし」のサービスを効果的、効率的に提供していくことが求められている。更に努力していく必要はないか。

答

お悔みコーナーについては、昨年の決算特別委員会でも質問があり、設置場所や対応する人員など検討した。専用スペースの確保・人的配置・申請書作成補助のシステム構築など課題もある。関係する職員が連携し何度も移動しない窓口サービスに努めたい。



さつま町初のプロ野球選手誕生
《役場本町玄関ロビーに功績の数々を展示》



新改 秀作 議員

認知症対策

認知症施策大綱の対策は

町長／充実した取り組みを進める

問 国の大綱で認知症対策が示されたが、本町の対策は。

答

2025年には5人に1人が認知症になると予想されている。町の総合振興計画の基本項目に基づいて、地域包括支援センター、医療機関等と連携をし、介護予防の取り組みや地域支え合い推進員等と連携を図りながら、充実した取り組みを実施する。



ころばん体操で足腰強化

文化施設

文化センター建設は

町長／建設基本計画を策定する

問 文化センター建設のプロジェクトチームの進捗状況はどうか。また、積立金の状況はどうか。現時点での着工はできないのか。

答

すでに9回会議を行い周辺への環境

境への影響、波及効果、防災等の観点から現地踏査も踏まえ、候補地の形状規模の検討を行っている。積立金は7億円程になっているが建設手法で大きく変動するので、状況を確認しながら進めていく。



築46年経過している宮之城文化センター

美術館併設の考えは

教育長／町民ホールも併せて検討する

問 町内に美術館と呼ばれるところがなく、新築予定の文化センター内に美術館を造る考えはないか。

答

町内外から寄贈のあった美術品、工芸品等があり、現在、歴史資料センター、役場町民ホール等で展示している。今回の文化施設の建設にあたり、町民ホールの役割も含め、ギャラリ的なスペースを検討していく。

町文化事業の見直しを

教育長／関係部署と連携し進める

問

町の文化事業の一端を担う、文化協会、文化懇談会等の助成金の見直しを行う考えはないか。また、町の文化事業について、全般的な見直しを行う考えはないか。

答

文化的活動をしている団体について

では、町として支援しているところであり、今後も引き続き助成していく。宗功寺の宮之城島津家墓所が国の文化財指定を受けることが決定したことから、歴史ゾーンの整備の進捗状況を考慮し、関係部署と連携して進めていく。

包括業務委託の進捗は

町長／総合的な調整が必要



宮之脇 尚美 議員

答 本制度への移行については、議会の指摘を真摯に受け止めて検討してきている。その後予定の業務再編が可能となったことや地元業者への委託の可能性、一定規模の人材の確保と財源調整など、総合的な検討を行う必要があるため、今後とも慎重に進めていく。

問 包括業務委託については、昨年議会でも慎重な対応が必要との意見等が多数を占め、見送られた経緯があるが、現状と今後の見込み、主要な課題は何か。



委託先は地元も対象に
町長／地元業者も対象とする

問 包括業務委託の相手方は、法人や公共的団体等も含まれると解する。したがって地元の事業者等とも意見交換等を行い、委託業者の対象として考慮すべきではないか。

答 昨年の9月議会でも指摘されているが、地元業者とも意見交換等を行い、対象事業者として検討する。なお、直接役場で雇用する非常勤職員よりも経費がかさむため、委託後もより一層行財政改革を進めながら、行政サービスの向上に努めていく。



約170名の非常勤職員が役場に勤務

非常勤職員

会計年度任用職員の雇用形態は

町長／パートを主とした雇用となる

問 令和2年4月から関係法の改正により、非常勤職員の雇用形態が大きく変わるようになってきているが、適用される人員や予算規模、職種等はどのように見込まれているか。

答 今回の法改正で、これまで非常勤職員は対象外だった身分保障や手当等を適用することになっている。全体の非常勤職員をパートとして雇用する計画であるが、各種手当等を支給することで、全体では年間約5千万円が増額となる。

再任用職員の活用策は

町長／行政経験を活かす工夫を検討

問 役場を退職し継続雇用している再任用職員は、賃金も非常勤職員と大きな格差はないと思われるが、今回の非常勤職員の制度改正と併せ、処遇面の改善や豊富な行政経験を活かす手法を検討すべきではないか。

答 ここ数年で行政経験豊富な多くの職員が退職し、再任用職員も増加している。今後職員や再任用職員、非常勤職員等の適正な配置を行い、再任用職員の技能と技術が発揮できる環境を整え、行財政改革の推進と効率的な行政運営に努めていく。



森山 大 議員

農家民泊

グリーン・ツーリズムの現状は

町長／農家民泊を通して農家の所得向上を支援

問

研究会は6月に協議会に名称変更し、本町におけるグリーン・ツーリズムの推進に活躍されている。時代は変わってきて、日本の農村は少子・高齢化と、グローバル化が進んでいる。そういう中で、本町のグリーン・ツーリズムの現状と展開は。

答

新規会員確保に向けた取り組みを進めながら、北薩広域公園との連携や森林の体験活動支援事業を活用し、沢登りや竹細工体験等のイベントの創出に取り組んでいる。本町の豊かな自然や文化を体験し、少しでも長く滞在してもらおう「農泊」を通して、農家の所得向上を担えるよう支援したい。

地域活性化

協力隊の現状と活用策は

町長／2隊員の活動を支援

問

地域おこし協力隊とは、人口減少や高齢化などの進行が著しい地方において、域外の人材を入れて、定住・定着を進めることで意欲的に地域の活性化を図っていくことを目的とした制度である。協力隊の現状と活用策の考えはないか。

答

地域おこし協力隊員として現在2名が活動している。きららの楽校で施設PRやイベントの企画実施、町観光特産品協会の情報発信などを担っている。協力隊員など町外から人材を受け入れ、活動に取り組むには十分な準備が必要であり、行政・地域・隊員一体となり、様々な分野で協力隊制度が活用できるように進めていきたい。



地域おこし協力隊として、令和元年10月1日から勤務の盛岡隊員（情報発信の作業の様子）

さつま町 Satsuma Town

ホーム 暮らしの情報 町の情報 観光情報 農林業 商工業

ホーム > 町の情報 > 町議会 > さつま町議会

町議会

- さつま町議会
- 議会の概要
- 会議録
- 議会だより
- 議会映像
- ライブ中継**
- 傍聴案内
- 町議会議員名簿
- 請願・陳情
- 定例会等予定表
- 一般質問通告一覧

さつま町議会

更新日：2018年12月1日

春 夏 秋 冬

議会からのお知らせ

平成30年第4回（12月）定例会が開催されます。日程については左の「定例会等予定表」をご覧ください。

「ライブ中継」から本会議の様子を視聴できます。

また、役場本庁・各支所ロビーのテレビでもご覧いただけます。

◇議会傍聴へお越しください◇

- 日程等は、防災行政無線放送や町ホームページで事前にお知らせいたします。
- 鶴田支所、薩摩支所のロビーに設置してあるテレビやインターネット（YouTube）で、本会議の中継を視聴することができます。
- 次回は3月2日開会予定です。



QRコードを読み取るとライブ中継画面のページが表示されます。

議会情報を満載

《さつま町ホームページ》
<http://www.satsuma-net.jp>

トップページの下画面から議会情報をご覧になれます。

さつま町議会



行政改革

財政改革と返済計画は

町長／可能な限り軽減



舟倉 武則 議員

問

本町の地方債残高と今後の返済計画について。また、財政調整基金積立金を最小限にとどめ、地方債残高を減らす考えは。

答

借入額を抑制しない限り、残高が減少しないことは当然であり、今後も、将来への負担を可能な限り軽減させ、引き続き公債費負担適正化計画等に基づいた取り組みをする。また、地方債と財政調整基金の均衡を図り、持続可能な財政運営を行っていく。

地方債残高の最終減額は

町長／減額に努める

問

借入金、最終的にどれくらいまで減らす考えか。

答

将来への負担を可能な限り軽減させていくためにも、町

民福祉の向上を第一に、計画的なインフラ整備等による地域経済の均衡ある発展も考慮した財政運営に取り組んでいく。

適正な職員数は

町長／定数管理に取り組む

問

本町の人口減は急激に進んでいる。パソコンなどが普及し、IT化も進んでいる。この様な現状を鑑み、計画的に検討する必要があるのではないか。

答

将来人口の動向や国の指導などにも留意しながら、正規職員だけでなく、関係職員全体での定数管理を行っていく。総数を意識し、総合的に判断し現状を十分に見極め、時代の要請に見合った見直しに、慎重に取り組む。

観光政策

観光振興による交流人口は

町長／交流人口の拡大に努める

問

本町には、様々な伝統行事がある。価値ある自然や資源を活用し町内外に宣伝すれば、観光を通じて交流人口が増大するのではないか。

答

交流人口の拡大を図っていくには、これまでの特色ある観光資源を町内外の広い範囲に、効果的に広報・宣伝する必要がある。効果的に情報発信をしながら、交流人口の拡大に努める。

特産品の開発は

町長／お土産品として商品化

問

今年、ラグビーワールドカップで盛り上がり、来年は、さつま町で国体のラグビー競技が開催される。会場も虎居であり、来町者のお土産品として、さつま町の銘菓「トライ饅頭」を商品開発したらどうか。

答

提案のあった件については、名前の商標登録の関係もあるが、町商工会や観光特産品協会等の町内のお菓子屋などに「トライ饅頭」または「トライ〇〇」といったネーミングのお土産品になるお菓子の商品化について、機会を捉えて紹介したい。



多くの高校ラグビー部が夏合宿に来町



川口 憲男 議員

行政改革

町民サービスなど大丈夫か

町長／職員削減の影響はない

問

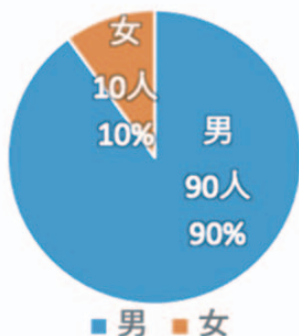
行革で職員数が減ること町民サービス、地域のコミュニケーション力の低下が懸念される。地域の活性化には役場職員の力には非常に貴重なものがあるがどのように考えるか

答

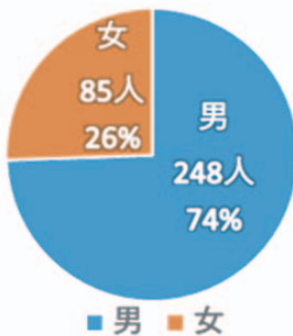
合併後の行革については、定数削減と関係経費の削減が主な柱であった。職員定数はもとより議会や各種行政委員会、大きな改革を実施、そのため、地域担当職員を創設しコミュニティ事業の応援、支援を進めてきた。また事務事業のバランスを図りながら進めていく。

職員区分	区分	男	女	計
管理職的役職	課長級	28	1	100
	課長補佐級	29	2	
	係長級	33	7	
一般職	一般職	158	75	233
合 計		248	85	333

管理的役職職員男女構成



職員男女構成



さつま町職員の構成

女性の管理職登用は町長／積極的に登用

問

管理職の構成はどのような状況か。県庁、他市町村の行政機関では多くの女性職員が登用されているが、町長は女性の管理職への登用をどのように考えるか。

答

女性の管理職への登用は、課長1名、課長補佐2名、係長7名となっている。女性の登用には目標を定め取り組んでいるところである。優秀な職員は男女を問わず登用すべきであると考えている。

次期行政改革の取り組みは

町長／将来を見据え策定

問

次期行政改革大綱の取り組みが示されると思うが、行政改革推進と地域力向上は、大事であると考えている。どのように推進していく考えか。

答

第4次行政改革大綱は、第3次を継承しつつ、AI・RPAといった革新的技術を活用した業務環境の改革やPFIの積極的な活用、光ブロードバンドの整備による地域振興策の取り組みなど、将来のさつま町を取巻く環境を想定しながら策定する。

用語解説

《AI》

言語の理解や推論、問題解決などの知的行動を人間に代わってコンピュータに行わせる技術。

《RPA》

ロボットによる業務の自動化をするシステム。事務作業などの頭脳労働の間接作業を主に自動化する。

《PFI》

公共施設等の建設、維持管理、運営等を民間の資金、経営能力や技術的能力を活用して行う手法。

《光ブロードバンド》

光ファイバーケーブルを用いた、高速で大容量の情報が送受信できる通信網。

交通安全

子ども達の安全管理は

町長
教育長
／事故防止策と安全指導

問 高齢ドライバーによる運転操作ミス、運転手の不注意による暴走事故等、子ども達が交通ルールを守っていても危険な場合がある。保育園と学校の交通安全教育と園外や校外活動の集団移動時の安全管理について検討すべきではないか。

答 (町長) 国から指導があり、9月に町内の保育園に呼びかけ、警察署、道路管理者と合同で危険箇所の点検を実施した。通学通園のルート変更、交通規制の対象になるものもあると思う。

答 (教育長) 各学校では、交通安全教育を実施し事故防止についての体験をしながら繰り返し指導している。体験型や保護者参加の交通安全教育は効果的であるので、各学校で取り組むよう指導していききたい。また、園外や校外活動は、引率者を多くし安全管理に努めるよう指導している。



柏木 幸平 議員



児童虐待相談ポスター

バス通学生生の安全対策は 教育長／一定の期間を要する

問 宮之城中学校の生徒504名のうちバス通学は192名である。下校時の屋地仲町バス停付近では、国道の両側にバスが複数停車し、通行車両の渋滞や交差点と横断歩道もあり、危険な状態である。改善の考えはないか。

答 下校時と同じ時間帯に車両が道路の両サイドに停車することへの対策を検討する必要がある。停留所の場所や発着時刻を変更する方法などが考えられる。学校、保護者、関係機関との協議が必要となるため、一定の期間を要すると考える。



夕方の屋地仲町バス停付近の様子

虐待防止

児童虐待防止の対応は

町長
教育長
／関係機関と情報を共有

問 全国的に児童虐待の事案が発生し、身近な所でも起きている。鹿児島県や県内の自治体においては、虐待防止対策が取られている。さつま町内での事例はないものか。また、関係機関との連携など、対応は十分か。

答 (町長) 本町の児童虐待は、平成26年度から平成30年度まで10件発生。本年度は11月現在、児童相談所への通報が1件発生している。児童相談所、さつま警察署と連携し、DV被害者の避難や母子生活支援施設への入所など緊急に対応している。

答 (教育長) 教職員が児童生徒の観察や対話で早期発見に努め、疑われる場合は迅速な報告をし、連携して対応にあたるよう学校に指導している。今後も学校や子ども支援課をはじめ、児童相談所等、関係機関との連携を図り迅速な対応に努める。



田野 光彦 議員

学校改革

コミュニティ・スクールについて

教育長／他の学校にも導入の計画



問 コミュニティ・スクール導入のコンセプトは何だったのか。また、導入している佐志・山崎小の2校と統廃合によって生まれた柏原・盈進小の2校や導入していない他の6校との差異を現状でどのように捉えているか。

答 コミュニティ・スクールは、「地域とともにある学校づくり」を進めるための仕組みである。今後は他の学校にも導入する計画である。2校からは良い反応を得ており、地域とともにある学校づくりがさらに進んでいくものと期待している。

問 地域創生のためにもコミュニティ・スクールは必要である。また、小学校から中学校へ進む際に生ずる中1ギャップの問題を防止するためにもカリキュラムと連動した小中一貫教育が必要と考えるがその対策は。

答 本町では県の小中一貫教育及びコミュニティ・スクール連絡協議会に参加し、また、中1ギャップ問題では中学校「ふれあい教室」を設置し、諸課題の解決に向けた取り組みを推進している。今後とも、進学がスムーズにいくよう努める。

小中一貫教育の導入は教育長／スムーズな進学に努める



コミュニティ・スクール連絡協議会の様子（佐志小学校）

道路管理

街路樹等の維持管理は

町長／可能な限り対応していく

問 本町は3本の国道が通り、町外からの人や車の往来も多いが、街路樹のツツジ、サクラ、サルスベリ等は、周りに雑草が生えて手入れがされていらない。どこがどのように管理しているのか。

答 町内の国・県道の街路樹は、北薩地域振興局で維持管理を行っており、総合的に勘案して順次作業を実施しているとのことである。町道は民間業者等の協力を得て管理しているが、管理延長が長いことから作業が追いつかない状況である。



計画的に街路樹の作業が進められる

DMO事業の成果は

町長／ソフト事業を推進中



三浦 広幸 議員

問

日本版DMO候補法人「㈱やさしいまち」が、観光地域づくりのかじ取り役として、伊佐市の曾木の滝公園では薬草の杜、薬草の館を運営し、さらに古民家風レストランも整備中である。さつま町に關係した事業と成果は何か。

答

各種旅行イベントでの伊佐・さつまの観光宣伝・プロモーション、商談会を行い、旅行会社等への認知度向上に繋がっている。アウトドア愛好者へのPR宣伝として、数十万人の会員がいる「モンベルフレンドエリア」に登録してプロモーション活動を行っている。

今後の鶴田ダムナイトは町長／継続的な開催要望を行う



県内初のデジタル掛け軸（鶴田ダム）

問

平成31年3月に県内では初めてとなる鶴田ダムナイト「デジタル掛け軸」が開催され、多くの見物人が来た。DMOの目的である町外からの来訪者は把握しているか。また鶴田ダムナイト「デジタル掛け軸」は継続して開催されるのか。

答

多数の来訪者のうち鹿児島市など町外から約75%を占め、情報発信と観光資源としての認知度が高まった。継続開催をお願いしているが、今後多額の事業費を要する観音滝公園整備も予定されており、DMO事業が軌道に乗り、運営が安定することで開催の機会があると考えている。

モンベルフレンドエリアとは

商工観光PR課長／観光紹介の情報発信サイト

問

モンベルフレンドエリアプロモーション活動に毎年約65万円の支出があるが、モンベルフレンドエリアとはどのようなサイトか。そのウェブサイトに閲覧者からの感想や意見は届いているのか。

答

モンベルはアウトドアの総合ブランドのウェブサイトで、川内川のホタル舟や、温泉、薩摩切子、焼酎など地域の特産品等を紹介している情報サイトである。これらを通じて観光地としての認知度が向上してきている。意見感想は、現時点では把握していない。

DMOのサポート体制は

町長／継続して支援・協力する

問

「㈱やさしいまち」へ行政からの補助金は本年度で終了予定である。来年から自前で資金調達し、自立するDMOになるが、今後のDMO事業の推進体制とサポート体制はどうなるのか。

答

補助金について、は、本年度で終了

する。しかし、全体的な観光推進を図るうえからも、関係機関団体が連携・協力しながら、今後も推進をしていく必要がある。関係団体で構成している「川内川を活用した自然体験型DMO推進協議会」については、継続して支援・協力をしていきたい。

平成30年度の決算を認定

適正に計画的かつ効率的に執行されたか！町民にとっての事業・行政効果は！

さつま町歳入歳出決算（一般会計、国民健康保険事業特別会計、後期高齢者医療特別会計、介護保険事業特別会計、農業集落排水事業特別会計）

さつま町上水道事業会計決算

第3回定例会の最終日（9月27日）に審査が付託された8人の委員で構成する決算特別委員会では、委員長に上園一行議員、副委員長に岩元涼一議員が選任されました。

審査は10月2日から7日までの日程で、さつま町歳入歳出決算及び上水道事業会計決算について慎重に審査を行い、12月5日の本会議において決算特別委員長の報告のとおり、いずれも認定しました。審査の内容を一部掲載します。

新しい文化施設建設の検討委員会での協議内容は。

答 平成30年11月に検討委員会を設置しこれまでの経過に基づいて課題整理し、その後プロジェクトチームをつくり、役場内での検討を行っている。今後はアンケート調査などを行い町民の方々の意見を反映させていきたい。

薩摩地区3小学校の再編に向けた今後の取り組みは。

答 平成28年度に3地区での説明会実施から時間が経過しているため、今後は将来における児童数の推移などの情報提供や再編に対する考えを伺う機会を設定したい。

不法投棄10件の内訳は。

答 主にテレビや冷蔵庫で、平成30年度はタイヤが多かった。また、ごみの分別が守られていないことから、ごみステーションに1か所監視カメラを設置した。



山林へ不法投棄されたタイヤ

子牛せり市購買者対策事業が終了したことでの影響は。

答 事業実施により、県外購買者がある程度定着してきており、価格が低下しても購買者数は極端に減少しておらず、一定の事業成果があったと分析している。



せり市の様子（薩摩中央家畜市場）

医師確保対策では、県外も含めた取り組みは考えられないか。

答 以前は薩摩郡医師会において県外を含めて働きかけをしており、個人情報保護の関係で働きかけが困難な面もあるが、今後も薩摩郡医師会と連携を図っていききたい。

荒廃竹林を筍生産林に改良したその後の管理は。

答 筍生産林が約120ヘクタールあると考えられ、高齢化による管理不十分な箇所も見受けられる。

◆要請◆

高齢化などにより管理できなくなった場合など、近隣所有者に委託できるような管理体制づくりを検討するよう要請する。

地域幹線バスの年間利用者数と負担金額は。

答 大口・針持・宮之城線は、運行回数1日



利用増が期待される幹線バス

当たり4・6回、平均乗車密度は7・8名、空港バスはそれぞれ12回、3・7名で、町の負担金額は毎年度の収支により変動する。

債権管理条例等の制定は。

町長 条例制定は進めているがまだ提案に至らない。公金としての扱いは非常に重要なことであることから、納入が原則と思っている。

法制・財務事務研修を、町独自で実施する考えはないか。

町長 これまでも各種研修を実施しており、専門的な分野も含め今後も継続して研修を進めていくなかで、研修のあり方を見直す必要がある。

【決算特別委員】

上園、上久保、柏木、田野、岩元、岸良、宮之脇、川口

議会活動



富山県朝日町(10/29)、熊本県甲佐町(11/19)、群馬県富岡市(1/24)の行政視察を受け入れました。



町商工会役員との懇談会(11/22)



国土交通省及び財務省主計局において、北薩空港幹線道路整備促進期成会による中央要望と併せて、国道504号さつま町・出水市区間改良整備促進議員期成会の要望活動を行いました。(11/26)



全国町村議会議長会表彰

全国町村議会議長会創立70周年記念表彰規程に基づき、町村議会議員として30年以上在職し功労のあった、前さつま町議会議員、東哲雄さんが表彰を受けられました。



議長の動静(令和1年11月～2年1月) ※主な会議・行事

- 11月
 - 2日(土) ひいらぎ会秋祭り
 - 3日(日) 町文化祭、紫尾温泉まつり
 - 5日(火) 川内川改修促進期成会等中央要望 【東京都】 6日
 - 7日(木) 奥薩摩・水と緑の郷づくり推進協議会中央要望 【東京都】
 - 10日(日) 町駅伝競走大会
 - 13日(水) 全国創立70周年記念式典・町村議会議長全国大会 【東京都】 14日
 - 15日(金) 町戦没者追悼式
 - 16日(土) 町土地開発公社理事会
 - 19日(火) 薩摩中央高等学校文化祭
 - 22日(金) 熊本市甲佐町議会議長行政視察受入
 - 24日(日) 町商工会との懇談会
 - 26日(火) 国道504号さつま町・出水市区間改良整備促進議員期成会等中央要望 【東京都】 27日
- 12月
 - 1日(日) きららの里まつり
 - 15日(日) 町農林業振興大会
 - 22日(日) 町シルバー人材センター納会研修会
 - 24日(火) 町防衛施設誘致推進協議会
- 1月
 - 1日(水) 新春泳ぎ初め
 - 4日(土) 町成人式
 - 7日(火) 新年あいさつ回り(国・県関係)
 - 8日(水) 新年あいさつ回り(町内関係)
 - 12日(日) 町消防出初式
 - 16日(木) 県下一周・地区対抗女子駅伝競走大会川薩地区男女チーム合同結団式 【薩摩川内市】
 - 17日(金) バイオマス燃料合同会社社立地協定調印式
 - 19日(日) 町商工会初春のつどい
 - 24日(金) 群馬県富岡市議会議長行政視察受入
 - 26日(日) みやんじょ吹奏楽フェスタ
 - 27日(月) かごしま国体さつま町実行委員会第4回総会
 - 28日(火) 県町村議会議長会議員研修会【鹿児島市】

編集後記

町民の皆様にはご家族おそれ、輝かしい新年をお迎えのこととお慶び申し上げます。本年開催される東京オリンピック、パラリンピックでの日本勢の活躍を期待します。また、国体は鹿児島県で行われ、さつま町のかぐや姫グラウンドでラグビーフットボール(少年男子)が開催されることになっており大変名誉なこと、鹿児島県勢の活躍を願うばかりです。

さて、12月議会は9名の一般質問者があり、各議員が積極的に議会活動に取り組んでおります。昨年は議会活性化を図る必要があることから1000人の町民の皆さんにアンケート調査や、各分野の参事人の皆様についてご意見をお伺いしました。本年3月議会では結論を出す予定です。

次の選挙には多くの立候補者があることを期待し、活発な議会活動を展開し、町民の皆さんの負託に答える議会を目指したいと思っております。

(米丸)

議会広報特別委員会

- 委員長 上 圀 一 行
- 委員長 三 浦 広 幸
- 委員 米 丸 文 武
- 委員 朝 倉 満 男